

## -2005 年度 県立広島大学新入生意識調査の概要-

### 県立広島大学総合教育センター

県立広島大学総合教育センターでは、学生の学習状況や大学生活の実態と傾向を把握し、その結果を学生支援の施策に反映させるため、新入生を対象に「新入生意識調査」を実施した。最終的報告は後日公表の予定であるが、中間報告としてその概要を述べる。

【実施期間】 2005年7月11日(月)～7月29日(金)

【対象】 新入生 626人 (有効回収数 536 85.6%)

【方法】 フレッシュマンセミナーの授業時間を利用したアンケート

【内容】 調査質問項目

- ① 授業と自学自習について、 ② 県立広島大学への進学理由について、 ③ 将来設計について、 ④ 大学生活の充実について、 ⑤ 大学での人間関係について、 ⑥ フレッシュマンセミナーの授業について

#### 【結果】

##### ① 授業と自学自習について

73.9%が授業に興味を持っていて、76.7%が大学での授業が将来に役立つと考えている。授業には、60.8%がほぼ完璧(90～100%)に出席しているが、受講している授業のほとんど(80%以上)に満足している学生は4.1%にとどまっている(60.0%以上の満足度でも27.2%) 週平均学習時間(含む図書館での自習)は、1時間以内が50.0%、2時間以内が23.0%であった。(0時間は8.3%) 図書館の利用は1ヶ月10回程度が77.5%。

##### ② 県立広島大学への進学理由について

55.2%は「希望する学部、学科があった」を入学の理由に選んだが、一方で24.5%は「希望した大学に入れなかった」ので県立広島大学に入学している。

##### ③ キャリアプランについて

卒業後の進路として、「現在の専門をいかせる就職」を視野に入れている学生は66.5%、「大学院進学」が10.4%であった。

##### ④ 大学生活の充実度について

70.5%の学生は充実した大学生活を送っていると評価。その理由の1位(多肢選択可能で過半数以上が選択)は、「交友関係を深める」であった。また、「所属学部の学習を、同じ専門分野を学ぼうとしている後輩に勧めるか」については、「勧める」が68.4%であった。

##### ⑤ 大学での人間関係について

(5段階評価平均得点で、高い数値ほど良好な関係を示す)

友人(4.37) > 職員(3.50) > 教員(3.40)

##### ⑥ フレッシュマンセミナーの授業について

(1 そう思わない 2 あまりそう思わない 3 ある程度そう思う

4 そう思う の4段階評価平均得点で、高い数値ほど良い評価を示す)

- ・教員は授業の準備を十分にしている。(3.18)
- ・教員は学生にわからせるよう工夫している。(2.99)
- ・教員が授業内容に関心を持たせるよう工夫している。(2.86)
- ・発展的な授業につながる授業が行われている。(2.81)
- ・教員は授業外でも熱心に指導してくれる。(2.72)

★学生が大学や授業に期待しているものは何か？

★学生の動機づけを高め、よくわかる授業とは？

★基礎教育の徹底と専門教育の充実

★創意工夫を凝らした授業改善の余地はまだある